

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2006-115576(P2006-115576A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-298458(P2004-298458)

【国際特許分類】

H 02 P 6/08 (2006.01)

H 02 P 27/06 (2006.01)

【F I】

H 02 P 6/02 3 7 1 J

H 02 P 5/41 3 0 3 K

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直流電力を交流電力に変換するインバータ回路と、位相差制御方式によって前記インバータ回路を制御する制御装置とを備え、前記制御装置は、前記インバータ回路を流れる電流を検出する電流検出手段と、交流電圧と交流電流との位相差を検出する位相差検出手段と、検出された前記位相差と目標とする位相差との誤差に応じてデューティ基準値を調整する調整手段と、前記交流電流の振動成分を検出する電流振動検出手段と、前記交流電流の振動成分に基づいて周波数補正量を算出する周波数補正量演算手段と、算出された前記周波数補正量に基づいて周波数指令値を補正する周波数補正手段と、補正された前記周波数指令値に対応する出力波形データと調整された前記デューティ基準値とに基づいてPWM信号を算出するPWM信号作成手段とを有しており、前記制御装置は、前記PWM信号を前記インバータ回路に出力することを特徴とするインバータ装置。

【請求項2】

周波数補正量演算手段は、電流振動検出手段によって検出された振動成分が大きい場合は、周波数補正量を大きくし、前記振動成分が小さい場合は、前記周波数補正量を小さくすることを特徴とする請求項1に記載のインバータ装置。

【請求項3】

直流電力を交流電力に変換する同期モータ駆動用インバータ回路と、位相差制御方式によって前記インバータ回路を制御する制御装置とを備え、前記制御装置は、前記インバータ回路を流れる直流電流を検出する直流電流検出手段と、検出された前記直流電流に基づいて交流電圧と交流電流との位相差を検出する位相差検出手段と、検出された前記位相差と目標とする位相差との誤差に応じてデューティ基準値を調整する調整手段と、前記交流電流の振動成分を検出する電流振動検出手段と、前記交流電流の振動成分に基づいて前記モータの回転数補正量を算出する回転数補正量演算手段と、算出された前記回転数補正量に基づいてモータ回転数指令値を補正するモータ回転数補正手段と、補正された前記モータ回転数指令値に対応する出力波形データと調整された前記デューティ基準値とに基づいてPWM信号を算出するPWM信号作成手段とを有しており、前記制御装置は、前記PWM信号を前記インバータ回路に出力することを特徴とするインバータ装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のインバータ装置を備えたことを特徴とする圧縮機駆動装置。

**【請求項 5】**

請求項 4 に記載の圧縮機駆動装置を備えたことを特徴とする冷凍・空調装置。